



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月28日

上場会社名 株式会社システム・テクノロジー・アイ 上場取引所 東
 コード番号 2345 URL http://www.systech-i.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松岡 秀紀
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員管理本部長 (氏名)内山 富士子 (TEL)03 (5148)0400
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 平成—年—月—日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	481	△1.5	8	—	4	—	△0	—
27年3月期第2四半期	489	△5.8	△11	—	△14	—	△22	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △0百万円(—%) 27年3月期第2四半期 △22百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△0.30	—
27年3月期第2四半期	△16.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	957	754	78.6
27年3月期	977	770	78.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 752百万円 27年3月期 765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,142	18.6	43	—	37	—	28	21.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期2Q	1,344,000株	27年3月期	1,336,700株
28年3月期2Q	14,078株	27年3月期	2,178株
28年3月期2Q	1,330,352株	27年3月期2Q	1,334,478株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成27年10月28日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、中国経済の景気減速や金融政策等、不透明感を払拭できない状況で推移しております。

当社グループでは、iLearning事業で第1四半期より製品化の準備を進めていた画面共有ソリューション「iStudy Solstice」を9月1日にリリースし、学校、企業向けにアクティブラーニングの効果的な学習環境の実現に導くための導入事例と最新動向を紹介するセミナーを開催すると同時に、集中的に販売パートナー向けトレーニングを実施し下期以降の販売体制強化並びに認知度向上に注力いたしました。

また、新規事業立上げから好調に伸長している医療業界向け人材紹介事業については、7月に介護業界の新規分野向け新サイトをオープンし、さらなる領域拡大に向け積極的に事業展開を図りました。

その結果、売上高481百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益8百万円（前年同期は11百万円の損失）、経常利益4百万円（前年同期は14百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失0百万円（前年同期は22百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

[iLearning事業]

iLearning事業におきましては、企業向け社員総合学習システム「iStudy Enterprise Server」関連のストック型ビジネス売上が計画通り推移いたしました。一方、新規導入並びに既存のお客様向けのバージョンアップ等の案件が下期にずれ込んだためフロー型ビジネス売上については計画を下回りました。利益につきましては、収益の基盤となるストック型ビジネス売上が前年同期に比べ10.9%増加したことにより、セグメント損失は前年同期に比べ大幅に改善されました。

その結果、売上高177百万円（前年同期比7.9%減）、セグメント損失12百万円（前年同期は36百万円の損失）となりました。

[Learning事業]

Learning事業におきましては、講師受託売上（他の研修会社で実施する研修の講師請負）、法人向け定額研修SEカレッジが計画を上回り好調に推移したものの、オラクル定期研修売上が計画を大きく下回りました。

その結果、売上高187百万円（前年同期比4.1%減）、セグメント利益9百万円（前年同期比30.9%減）となりました。

[人材紹介・派遣事業]

人材紹介・派遣事業におきましては、収益性の高い医療系人材紹介が計画通り推移し売上高、セグメント利益は、前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、売上高116百万円（前年同期比15.9%増）、セグメント利益11百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて、19百万円減少し957百万円となりました。これは主に、現金及び預金14百万円、売掛金17百万円の減少、前払費用9百万円、前渡金6百万円の増加によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べて4百万円減少し202百万円となりました。これは主に、買掛金5百万円、未払法人税等百万円の増加、前受収益6百万円、未払消費税等5百万円の減少によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて15百万円減少し754百万円となりました。これは主に自己株式11百万円の増加によるものであります。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて64百万円減少し、334百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、0百万円(前年同四半期は21百万円の支出)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益5百万円、減価償却費5百万円、売上債権の減少17百万円、前渡金の増加6百万円、前払費用の増加9百万円、前受収益の減少6百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、50百万円(前年同四半期は13百万円の支出)となりました。これは主に定期預金の預入による支出50百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、14百万円(前年同四半期は9百万円の支出)となりました。これは、配当金の支払いによる支出6百万円、自己株式の取得による支出11百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月28日に公表いたしました第2四半期累計期間および通期の業績予想に関しましては、現時点においては変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、
前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	598,071	583,119
売掛金	124,246	106,261
有価証券	10,135	10,136
商品及び製品	3,436	6,264
仕掛制作費	-	162
前払費用	10,008	19,020
関係会社短期貸付金	150,000	150,000
その他	11,320	18,110
貸倒引当金	△237	△280
流動資産合計	906,981	892,795
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,684	6,911
工具、器具及び備品(純額)	7,676	5,934
リース資産(純額)	1,040	650
有形固定資産合計	16,401	13,495
無形固定資産		
ソフトウェア	9,023	7,095
その他	901	845
無形固定資産合計	9,925	7,941
投資その他の資産		
敷金及び保証金	41,350	41,350
その他	4,636	1,773
貸倒引当金	△2,096	-
投資その他の資産合計	43,889	43,123
固定資産合計	70,215	64,560
資産合計	977,197	957,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,055	42,603
未払金	25,977	24,940
未払法人税等	3,644	7,734
未払消費税等	14,974	8,992
前受金	13,018	12,236
前受収益	104,671	97,675
その他	5,851	6,536
流動負債合計	205,195	200,719
固定負債		
退職給付に係る負債	1,667	1,973
その他	273	-
固定負債合計	1,940	1,973
負債合計	207,136	202,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	347,788	350,573
資本剰余金	983,236	979,349
利益剰余金	△564,405	△564,815
自己株式	△778	△12,508
株主資本合計	765,842	752,599
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	-	-
新株予約権	4,218	2,063
純資産合計	770,061	754,663
負債純資産合計	977,197	957,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	489,231	481,854
売上原価	289,669	261,398
売上総利益	199,561	220,456
販売費及び一般管理費		
役員報酬	28,931	27,320
給料手当及び賞与	81,365	90,763
法定福利費	13,251	14,825
広告宣伝費及び販売促進費	8,195	7,627
賃借料	11,707	11,794
支払報酬	10,737	10,701
減価償却費	4,373	3,539
その他	52,823	45,403
販売費及び一般管理費合計	211,386	211,976
営業利益又は営業損失(△)	△11,824	8,480
営業外収益		
受取利息	1,086	1,087
無効ユニット収入	412	401
その他	-	260
営業外収益合計	1,498	1,750
営業外費用		
証券事務取扱手数料	3,769	4,829
その他	819	491
営業外費用合計	4,588	5,320
経常利益又は経常損失(△)	△14,914	4,909
特別利益		
新株予約権戻入益	252	366
特別利益合計	252	366
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△14,661	5,275
法人税、住民税及び事業税	7,405	6,120
法人税等調整額	174	△434
法人税等合計	7,579	5,686
四半期純損失(△)	△22,241	△410
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,241	△410

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△22,241	△410
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	△22,241	△410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,241	△410
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△14,661	5,275
減価償却費	6,239	5,067
貸倒引当金の増減額(△は減少)	47	43
長期前払費用償却額	873	837
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	207	305
受取利息及び受取配当金	△1,086	△1,087
売上債権の増減額(△は増加)	2,795	17,984
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,860	△2,990
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,480	5,547
前受収益の増減額(△は減少)	23,782	△6,996
その他	△22,054	△21,964
小計	△14,198	2,022
利息の受取額	147	148
法人税等の支払額	△7,751	△2,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	△21,801	△36
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△3,852	△177
定期預金の増減額(△は増加)	△10,016	△50,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,868	△50,194
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△8,983	△6,379
リース債務の返済による支出	△409	△409
株式の発行による収入	-	3,781
自己株式の取得による支出	-	△11,730
その他	220	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,172	△14,737
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△44,842	△64,968
現金及び現金同等物の期首残高	435,793	399,794
現金及び現金同等物の四半期末残高	390,950	334,826

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	iLearning 事業	Learning 事業	人材紹介・派遣 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	192,298	196,129	100,803	489,231	—	489,231
セグメント間の内部 売上高又は振替高	300	—	1,002	1,302	△1,302	—
計	192,598	196,129	101,806	490,534	△1,302	489,231
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△36,225	13,533	10,782	△11,909	84	△11,824

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額84千円は、未実現利益の調整額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	iLearning 事業	Learning 事業	人材紹介・派遣 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	177,039	187,996	116,818	481,854	—	481,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高	300	—	761	1,061	△1,061	—
計	177,339	187,996	117,580	482,916	△1,061	481,854
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△12,092	9,345	11,139	8,393	87	8,480

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額87千円は、主に未実現利益の調整額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。